

令和6年度シラバス

文化学園大学保育専門学校

| 科目名 | | | | 授業の種類 | 授業担当者 |
|--|------------|-----|--|-------|--------------|
| 教育原理 | | | | 講義 | 荒井 聡史 |
| 学年 | 単位 | 時間数 | 授業回数 | 履修時期 | 選択・必修 |
| 2 | 2 | 30 | 15 | 前期 | 幼免:必修 保育士:必修 |
| <p>[授業の目的・ねらい]</p> <p>①「教育とは何か」、「人はなぜ学ぶのか」という原理的な視点から教育について説明できるようになる。 ②教育が担うべき役割について教育に関する歴史的、社会的、制度的な背景も踏まえながら説明できるようになる。 ③現実的な教育課題について理解し、課題解決に向けて自分なりの意見を発表できるようになる。</p> <p>・受講生各人がこれまでに受けてきた日常的な教育体験を出発点にし、それを歴史、思想・理念、制度、カリキュラムといった視座に関する基本的理論や考え方からとらえ直すことによって検討する。 ・シラバスに示した内容について、適宜グループワークを取り入れながら事例に基づいた講義を行う。</p> | | | | | |
| <p>[受講上の注意事項]</p> <p>・幼稚園教諭免許、保育士資格という社会的地位にかかわる授業であるため、評価は授業態度も含めて厳正に行う。 ・自分の考えを述べる場を設定する。よって、常に自分なりの問題意識を持って授業にのぞんでほしい。</p> | | | | | |
| [使用テキスト] | | | [評価基準] | | |
| 使用しない。授業中に適宜資料を配布する。 | | | 以下を総合して判定する。・試験(30%)・授業態度(28%)・個人ワーク(15%)・グループワーク(15%)・グループ発表(12%) | | |
| [授業の日程と各回のテーマ・授業内容] | | | | | |
| 回 | 項目 | | 授業内容 | | |
| 1 | 教育の最新の動向① | | 新教育要領改訂の背景／個人ワーク①教育のイメージ | | |
| 2 | 教育の最新の動向② | | 日本の教育改革の系譜／グループワーク①教育のイメージ | | |
| 3 | 教育の最新の動向③ | | グローバル社会と学力問題 ／個人ワーク②子どもの頃好きだった「遊び」 | | |
| 4 | 幼児教育の特徴① | | 幼稚園教育要領における「遊び」 ／グループワーク②子どもの頃好きだった「遊び」 | | |
| 5 | 幼児教育の特徴② | | 子どもの遊びを見て感じたこと ／個人ワーク③実習で見た子どもの「遊び」／模擬授業準備① | | |
| 6 | 幼児教育の特徴③ | | 子どもの遊びが持つ意味 ／グループワーク③実習で見た子どもの「遊び」／模擬授業準備② | | |
| 7 | 教育を支える思想① | | コメニウス、ロック、ルソー :グループ発表 | | |
| 8 | 教育を支える思想② | | ペスタロッチ、ヘルバルト、フレーベル :グループ発表 | | |
| 9 | 教育を支える思想③ | | ケイ、デューイ、モンテッソーリ :グループ発表 | | |
| 10 | 教育制度・学校経営① | | 日本と諸外国との教育制度の違い／ビデオ教材の視聴① | | |
| 11 | 教育制度・学校経営② | | 多様な学校経営、幼保小連携 | | |
| 12 | 多様な学び① | | 「いのちの教育」／ビデオ教材の視聴② | | |
| 13 | 多様な学び② | | 「森のようちえん」／ビデオ教材の視聴③ | | |
| 14 | 学びを支える関係性 | | 家庭・地域との関係と幼保小連携 | | |
| 15 | 講義のまとめと確認 | | 確認テストと授業評価 | | |
| 実務教員としての経歴 | | | | | |
| 実務経験と授業の関連 | | | | | |